**学校法人 文化学園　川口文化幼稚園**

**令和６年度学校関係者評価　報告書**

**川口文化幼稚園　学校関係者評価委員会**

**令和７年8月**

内容

[1．報告書骨子 ２](#_Toc125624366)

[2．学校関係者評価委員 ２](#_Toc125624367)

[3．学校関係者評価委員による自己評価への提言 ３](#_Toc125624368)

[3-1　保育の計画性 ３](#_Toc125624369)

[3-2　保育の在り方、幼児への対応 ３](#_Toc125624370)

[3-3　保育者としての資質や能力・良識・適正 ３](#_Toc125624371)

[3-4　保護者への対応 ３](#_Toc125624372)

[3-5　地域の自然や、社会との関わり ４](#_Toc125624373)

[3-6　研修と研究 ４](#_Toc125624374)

[4.　学校関係者評価を受けて](#_Toc125624375) ４

# 1．報告書骨子

学校関係者評価委員会（以下、等委員会）は、「川口文化幼稚園 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。

当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している。委員構成は下記　　「2.学校関係者評価委員」に記載の通りである。

　本報告書は、令和６年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ、作成したものである。

　本報告書の作成にあたり、当委員会の委員の方々には多様なところ尽力いただき、深く感謝申し上げる。

# 2．学校関係者評価委員

**評価実施者：**委員4名（企業関係者２名、保護者・地域住民１名、元教育従事者１名）

**学校関係者評価　評価方法について**

令和６年度の学校関係者評価は書面により実施した

評価方法は採点方式とし、下記の基準にて評価をいただいた

・適切な状態を４点

・ほぼ適切な状態を３点

・やや不適切な状態を２点

・不適切な状態を１点

本資料においては、委員４名の平均評価点集を算出の上、小数点第１位を四捨五入した４点数を記載した。

**配布資料：**川口文化幼稚園 学校評価実施要項

　　　　　項目別の自己評価結果表

　　　　　学校関係者評価　評価記入シート

**本園の教育目標**

1.幼児の心身の調和を図り、健全な心身の基礎を養う。

2.基本的生活習慣と正しい社会態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳性の芽生えを培う。

3.自然及び社会の事象について興味や関心を持たせ、思考力の芽生えを培う。

4.人の話をきく正しい態度を養うとともに、ことばの正しい使い方を身につける。

5.幼児に自主的、自発的な活動を促し、自立の精神を養う。

6.幼児の心身の発達の実情をよく理解し、その個人差に応じて適切な指導を行う。

7.家庭との連絡を密にし、家庭における教育と相まって教育の効果をあげる。

# 3．学校関係者評価委員による自己評価への提言

　令和６年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

## 3-1　保育の計画性

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・全体を通して高い水準が保たれていて各方面への取り組みが行われている。

・園全体として、幼児が楽しい雰囲気のもと過ごせる環境が整っていると見受けられる。

安心感を与え、遊びこめる環境を提供している。

・園と教職員との間で教育理念や教育方針の共有を改めて意識することを期待する。

・園の方針、園長の考え、教育要領についての話し合いの場を設けて、確認、共有を増やす

　など、諸課題に対する改善も継続的に図っていくことが大切である。

## 3-2　保育の在り方、幼児への対応

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：4点　適切**

・安全への危険予測など高い配慮をはじめ良いかかわりが出来ていると見受けられる。

・教職員の適切な対応が見受けられ、今後の保育の在り方や対応に期待ができる。

・園児を多面的に捉え気持ちに共感しながら保育に向かっている姿勢が感じられる。

・教職員も保育活動を通じ共に成長していける職場環境が整っていると見受けられる。

## 3-3　保育者としての資質や能力・良識・適正

**【学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・幼稚園教諭としての専門的知識や技術の習得環境が整っていると考えられる。

・組織の一員の在り方として、教諭一人ひとりが保育の楽しみや喜びを持ちつつ、職種に関係なくチームとしての体制構築を期待したい。

・「分掌」「体制」「運営」の評価に差があるため、組織として合理的かつ職務内容等を明確にすることが望まれる。

・保育活動が充実するよう、人員配置の適正化を継続的に図ることが望ましい。

## 3-4　保護者への対応

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：４点　適切**

・教職員一人ひとりが非常に高い意識で保護者と向き合い、しっかりと対応をしていること

がうかがえる。

・組織の一員として、他教職員との連携、情報の共有を更に強めていただきたい。

・保護者対応の基本的なこと以外にも、付加価値として保護者の知りたい情報をわかり

やすく伝えられている。

・保護者から対応が丁寧、包容力があるなどの意見があり、信頼関係を築き教諭としての日々の研鑽がなされている。

## 3-5　地域の自然や、社会との関わり

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：3点　ほぼ適切**

・地域に根付く幼稚園という観点として、開放的な風土を醸成できると良い。

・小学校との連携、地域への開放と支援に関して、課題があると見受けられる。

・地域との交流は園児にとっても良い効果が期待できると考えられる。

## 3-6　研修と研究

【**学校関係者評価委員からの提言】　平均評価：３点　ほぼ適切**

・指導計画等で課題がみられる為、そこを改善されることでより高度な研究が期待できる。

・研究、研修への場に積極的な参加をするためにも、オンライン研修などを取り入れること

により改善が見られた。

・研修、研究体制が充実されており、自らを高めようとする教職員が多いと感じた。引き続き自己研鑽に励んでいただきたい。

# 4.　学校関係者評価を受けて

園内で実施した教職員による自己評価結果をもとに、外部委員の方々に学校運営ならびに教育活動について具体的なご意見を頂戴しました。ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

今回の提言では、昨年度からの評価を維持できた項目が多数あった点や改善が見られた点、改善の余地がある点などが明確となった一方で、改善された事柄も見受けられました。次年度に向けての気付きも多く、園長をはじめとする教職員と職員会議等を通して、情報の共有や今後の保育需要や地域や自然との関わり方、人として、教職員としての研修、研究に関わることについて、充実を図っていきます。

　今後とも自己評価ならびに学校関係者評価を継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存です。